

〔国際会議開催〕

申請者	慶應義塾大学 環境情報学部 准教授 大越 匡	2235002
国際会議名称	ACM MobiSys 2024 (The 22nd ACM International Conference on Mobile Systems, Applications, and Services)	
開催期間	2024 年 6 月 3 日～6 月 7 日（5 日間）	
開催場所	虎ノ門ヒルズフォーラム（東京都港区）/実空間のみでの開催	
申請者の役割	共同組織委員長	

概要：

ACM MobiSys（ACM International Conference on Mobile Systems, Applications, and Services）は、モバイル・コンピューティング特にモバイル・システムの研究に関して世界のトップ研究者が一堂に会する年次国際会議である。主な研究対象は、スマートフォン等のモバイル/ウェアラブル機器、センサ、IoT 機器等の多様な機器およびそれらのワイヤレスネットワークにおける基盤ソフトウェア技術、ネットワーク技術、センシング技術、機械学習技術、それらを応用したアプリケーションやサービス等であり、これらの最新研究や実装、社会展開に関する知見の共有による学術的な進歩と技術促進、コミュニティの発展と社会貢献を目的とする。MobiSys は四半世紀近くに渡って、採択率が 20～25% の難関会議として毎年開催されており、計算機科学の分野では国際的に広く認知され極めて高く評価されている。

今回 ACM MobiSys 2024 をはじめて日本に招致し、虎ノ門ヒルズフォーラム（東京都港区）で開催した。初の日本開催ということもあり 115 名という記録的な日本の参加者（前年までの約 20 倍）を含め、世界 22 の国と地域から 433 名（海外 318 名、日本 115 名）の参加があった。多くの参加者、投稿者を出したのは日本、韓国、中国、インドといったアジア各国であった。産学からの合計 7 名（本会議：2 名、IoT Day：5 名）の基調講演者、口頭発表 10 セッション 43 件の他、ポスター発表 87 件、デモ発表 18 件が行われた。会議最終日となる Workshop Day でも併設開催を含めた 8 つのワークショップが開催された。各国の参加者からは、多様な研究を知り質疑応答や議論で理解を深められたこと、企業研究者、大学教員、学生を含む多様な他の参加者との交流を深められたことなどの点で、非常に好評を得ることが出来た。